

● 発刊・編集：福津市生活支援コーディネーター・清水・則武
● 作成：福田

おたがいサマーズ (第20号 平成30年8月22日)

今月25日は、宮司コミュニティセンターにて宮司郷づくりの夏祭りが開催されます！
宮司3区からは焼きそば、焼き鳥、かき氷等を、シニアクラブからもハイボールや唐揚げを出品するようになっていきます。

年々参加者が増えており、今年も2000～3000人ほどが集まると予測されます。皆様もぜひお越しください！生活支援コーディネーターがなるべく派手な格好でテントの付近にいますので、見かけましたらお声かけください。

さて、住民全体の助け合いの仕組みづくりの協議体も、23回目となります。

昨年12月から準備を進めてきた福津市外出支援事業。試行から検討を重ねて、いよいよ本格的な取り組みが実施される運びとなりました。

社会福祉協議会により「車や保険、ガソリン等の提供」の他、「スタッフの安全運転、同乗者の注意事項等の講習」を執り行って頂きます。そのようなサポートを受けつつ、地域住民が主体となって運営していきます。

それに際しては、地域のニーズ把握や、参加者やボランティアの取りまとめが必要になります。各地域からご出席頂いている方々と力を合わせて、実現していきましょう。

また、前回から開始したミニバス運行についての話し合いも、引き続き行います。皆様の意見を取りまとめ、提案書を作成し、協議体から市長へ提出する予定になっています。

こんなことがありました。

8月3日、セブンイレブン福間海岸通り店近くに住む一人暮らしのおばあちゃん（93歳）が同店に買い物に行き、店の近くでよろけて転倒しました。通りがかりの高校生が店に知らせ、店の方が「近くに住む独居高齢者」と把握していたこともあり、熱中症で倒れたと119番通報して、搬送先の水光会病院でおでこのかすり傷・点滴の治療を受けました。

その後、知らせを聞いた息子さんが熊本から駆けつけ、おばあちゃんは経過観察ということで数日入院することになりました。そして、退院後は体力が回復するまで息子さんの住む熊本で生活し、元気になったら宮司に帰ってきて「住みなれた家で暮らす」ことになりました。

セブンイレブン福間海岸通り店と福津市は見守り協定を結んでおり、店長の高橋さんは協議体メンバーでもあります。来店する高齢者に、地域のささえ合いの一環として、営業の過程で「目配り・気配り」をされています。

今までにも、今年の春先、夕食を宅配している高齢者（男性・92歳）が元気がないということを知らせてくれました。訪問すると「肩で息をする」状態で、本人は拒否しましたが119番して東医療センターへ搬送し、腸に穴があいているということで緊急手術につながりました。

当協議体のネットワークを広げ、一人よりも二人、二人よりも三人の目で、ささえ合い、目配り・気配りする地域づくりを推進しましょう。

こんなことしています！



● 7月18日「みやま市協議体との交流」
福津市ささえ合い協議体の現況を説明しました。みやま市協議体との交流は3回目、馴染みの顔も増えてきました。
みやま市は、桜の時期に竹海小学校跡地にてじっちゃんバーをやってみたいとのこと。お酒大好き清水SCが喜んでお話しています！



● 8月2日「ジュピター大接近」
子ども・保護者30名と、天体望遠鏡で接近した木星を見ました。子どもたちが「見えた！」「もう一回！」とがはしゃぎますが、やがて「見えない……」との呟き。地球の回転のために、覗ける範囲から星がすぐに外れてしまい、保護者たちは調整に追われていました。

● 8月3日「おじちゃん（清水SC）に勝ってアイスキャンディー！」
ラジオ体操終了後、宮司コミュニティセンターのグラウンドにておじちゃんと子どもたちが駆けっこ（50m）！圧倒的に子どもたちが勝利したものの、おじちゃん曰く「負けてやった」とのこと。子どもたち皆でアイスキャンディーをご馳走になりました！（おじちゃん、ありがとう……来年も）



今後のスケジュール

| | |
|------------|-------------|
| 協議体 第24回 | 9月26日（水） |
| 市役所 別館大ホール | 18:00～19:30 |
| 協議体 第25回 | 10月24日（水） |
| 市役所 別館大ホール | 18:00～19:30 |



1、2、3
♪ ラジオ体操

問い合わせ ☘ 連絡先

- 市役所窓口 高齢者サービス課（中村、桑森、花田）：0940-43-8298
- 生活支援コーディネーター 問い合わせ（清水、則武）：080-3180-8839（清水）
地区での取り組みに関するご相談、ご質問など、話し合いへの参加もしますよ！